

《シンポジウム＋上映会》

一般参加者歓迎!!

紀行映画「熊野路」と南方熊楠
—新発見の南方熊楠映像資料をめぐって—

2015（平成27）年秋、NHK和歌山放送局に於いて、子爵・野村益三（1875-1959）が1935（昭和10）年に撮影した映画の中に、南方熊楠（1867-1941）の映像が残されていることが確認された。映画は「熊野路」と題された15分ほどの紀行フィルムである。各名所の映像が流れるのにまじって自邸の庭に佇む南方熊楠の映像が20秒ほど映し出される。

本企画では映画「熊野路」を、発見後はじめて全篇上映するとともに、その内容について多角的に検討をしてみたい。

日時 2017年3月19日（日）
9:30～12:00（開場9:00）

会場 和歌山県立情報交流センター Big・U
多目的ホール
和歌山県田辺市新庄町 3353-9

定員：200名 / 入場：無料 / 申込：不要

《パネリスト》

◆田村 義也氏（成城大学非常勤講師・南方熊楠顕彰会学術部長）

「昭和10年の南方熊楠：新出映像のもつ意味」

◆岸本 昌也氏（武蔵大学非常勤講師）

「野村益三子爵と映画『熊野路』」

◆土永 知子氏（和歌山県立田辺高等学校教諭・南方熊楠顕彰会学術部委員）

「映像に見る熊野路の植生」

《司会》

◆杉山 和也氏（青山学院大学大学院博士後期）

※本公開シンポジウムは、紀州地域学共同研究会・第4回研究集会（全3日間）の一部として開催されるものです。集会全体の詳細につきましては本研究会HPをご参照ください。

主催：紀州地域学共同研究会

共催：国文学研究資料館（歴史的典籍NW事業）

和歌山大学紀州経済史文化史研究所

南方熊楠顕彰会（田辺市）

お問い合わせ

●紀州地域学共同研究会研究集会について
紀州地域学共同研究会
URL：<http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/kisyuareastudies>
e-mail：kishuken@center.wakayama-u.ac.jp

●紀行映画「熊野路」と南方熊楠について
南方熊楠顕彰館 TEL：0739-26-9909
URL：<http://www.minakata.org/>
e-mail：minakata@mb.aikis.or.jp



趣 意

2015（平成 27）年秋、NHK 和歌山放送局に於いて、子爵・野村益三（1875-1959）が 1935（昭和 10）に撮影した映画の中に、南方熊楠（1867-1941）の映像が残されていることが確認された。映画は「熊野路」と題された 15 分ほどの紀行フィルムである。紀北の和歌山城や和歌浦から始まり、紀南の白良浜、田辺、中辺路を経て瀬峡、那智へと至る旅路と、各地の名所が映像で紹介されている。

田辺の場面では「この国第三の都 名高きものに、扇の松原、神島、白浜温泉、白良々の浜、円月島、崎の湯、千畳敷、臨海研究所、而して又南方翁あり」という説明書きに続いて、各名所の映像が流れるのにまじって、自邸の庭に佇む南方熊楠の映像が 20 秒ほど映し出される。南方の肖像については多くの写真が残されているが、動画映像が出現したのは、これが初めてである。南方は夏目漱石や正岡子規と同年齢であるが、この世代の人物が映像で残されていたということ自体が稀であり、奇跡的な発見といえよう。そして南方熊楠にまつわる貴重な資料であることは間違いない。

また、この映画に収められた当時の和歌山県各地の映像も、それぞれ大変貴重な記録となっている。和歌山城については、1945（昭和 20）年の大空襲で焼失する以前の姿を映像として伝えており、和歌浦では和歌祭の様子を捉えている。紀南の名所や人々の姿についても、今では失われた景観の数々が映像に留められている。

本企画では映画「熊野路」を、発見後はじめて全篇上映するとともに、その内容について多角的に検討をしてみたい。地域の方々にも、お気軽にご来場いただければ幸いである。

